

中学1年 英語 授業用プリント ① be動詞の文

1 全体像	2 be動詞とは	3 代名詞	4 am・is・are	5 否定文	6 疑問文	7 this・that	8 長文
-------	----------	-------	-------------	-------	-------	-------------	------

1 be動詞の文の全体像 — 3つの形を先に見渡す

このページのゴール be動詞の文の3つの形（ふつうの文・否定文・疑問文）を、ざっと言える

be動詞 = am・is・are。日本語の「～です」「～にいる・ある」にあたる言葉

「私はケンです」を英語にすると、日本語の順に単語だけを並べて×I Ken. とするのはまちがいです。「私は」にあたるI（文の「だれが・何が」にあたる言葉を**主語**といいます）のすぐ後ろに am を入れて、○I **am** Ken.（私はケンです。）とします。この am・is・are を **be動詞**といいます。be動詞の文には、次の3つの形があります。

ふつうの文 「～です」「～にいる・ある」

くわしくは2~4ページ

形 主語 + **be動詞** + 〰.

I **am** a student. (私は学生です。)

Tom **is** in the library. (トムは図書館にいます。)

否定文 「～ではない」「～にいない」

くわしくは5ページ

形 主語 + **be動詞** + not + ～. (be動詞の後ろに not)

I **am** not tired. (私は疲れていません。)

Tom **is** not from Canada. (トムはカナダ出身ではありません。)

疑問文 「～ですか」「～にいますか」

くわしくは 6 ページ

形 **be動詞** + 主語 + ～？(be動詞を主語の前に) 答えは Yes か No

Are you a new student? — Yes, I am. (あなたは新入生ですか。— はい、そうです。)

Is Ken kind? — Yes, he is. (ケン is 親切ですか。— はい、親切です。)

am・is・are のどれを使うかは**主語**で決まります (3・4ページ)。「これは～です」「～の」の言い方は7ページ、長い文章の中での使い方は8ページで確かめます。

合言葉 「主語を書いたら、すぐ動詞」

[illegible]

2 be動詞とは？ — 日本語の「です」と語順をくらべる

このページのゴール 「be動詞とは何？」に、1行で答えられる

① 日本語と英語の語順のちがい

英語のふつうの文には、**主語**（文の「だれが・何が」にあたる言葉。I, Ken, my bag など）と**動詞**（「どうする」や「なんだ・どんなだ・いる・ある」を表す言葉）が要ります。日本語は「です」が最後に来ますが、英語は主語のすぐ後ろに動詞を置きます。

日本語	英語
私は ケン です	I am Ken.
私は おなかがすいて います	I am hungry.

× I Ken.
日本語の順に単語を並べただけでは、文になりません。

② 動詞には2つの種類がある

どうする（例：走る・食べる）	なんだ・どんなだ・いる・ある
一般動詞（プリント②で習います）	be動詞 （このプリント）

be動詞とは … 「～だ・～です（なんだ・どんなだ）」「～にいる・～にある」を表す動詞。am・is・are の3つ

③ be動詞の例文

I **am** a student.
（私は学生です。）
なんだ

Emma **is** kind.
（エマは親切です。）
どんなだ

Tom **is** in the library.
（トムは図書館にいます。）
いる

My bag **is** in my room.
（私のかばんは私の部屋にあります。）
ある

「I'm Ken. と聞いたことがあるけど、am はどこ？」 I'm は I am を短くした形（短縮形）です。am はちゃんと入っています。くわしくは4ページ。

3

主語を代名詞8つに言いかえる

このページのゴール

どんな主語でも、代名詞8つのどれかに言いかえられる

① 主語に使う代名詞は8つ

主語（Ken, my mother など）は、名前や名詞のかわりに使う短い言葉に言いかえられます。これを**代名詞**といいます（Ken → he）。主語に使う代名詞は、まず次の8つを覚えます（this・that は7ページ）。

	代名詞	意味
1人・1つ	I・you・he・she・it	私は・あなたは・彼は・彼女は・それは
2人・2つ以上	we・you・they	私たちは・あなたたちは・彼らは（彼女らは・それらは）

※ you は1人でも2人以上でも you です。人以外の物・動物は、1つなら it、2つ以上なら they です。

② 主語を代名詞に言いかえる

もとの主語	言いかえ	考え方
Ken	he	男の人1人
my mother	she	女の人1人
Ken and I	we	自分をふくむ2人以上
Yuki and Emma	they	ほかの2人以上
my books	they	物2つ以上

× my books → it → ○ my books → they
2つ以上の物は they です。

③ 代名詞を使った文

Ken is my friend. He **is** tall.
（ケン是我的友達です。彼は背が高いです。）

Yuki's mother is a doctor. She **is** busy.
（ユキのお母さんは医者です。彼女は忙しいです。）

This bag is new. It **is** big.
（このかばんは新しいです。それは大きいです。）

4 am・is・are を主語で決める

このページのゴール 主語を見て、am・is・are のどれを使うか決められる

① 主語で be動詞が決まる

主語	be動詞
I	am
you と、2人・2つ以上 (we, they, Yuki and Emma, my books など)	are
それ以外の、1人・1つ (he, she, it, Ken, my mother など)	is

合言葉 「I は am、you と2人・2つ以上は are、それ以外は is」

② 主語がかわると be動詞もかわる

- 主語 I I am a student. 私は学生です。
- 主語 Yuki Yuki is a student. ユキは学生です。
- 主語 (2人) Yuki and Emma are students. ユキとエマは学生です。

student のような数えられる名詞が1人・1つのときは、a か an を付けます (a・an は「1つの」という意味の小さな言葉です。my などが付くときは付けません → 7ページ)。an は、a・i・u・e・o のような音で始まる語の前に使います。2人以上なら、名詞の後ろに s を付けます。

× We are student. → ○ We are students.
(私たちは学生です。)

③ 短縮形 (ちぢめた形)

I am → I'm / you are → you're	he is → he's / she is → she's
it is → it's / we are → we're	they are → they're / that is → that's

④ 鉄則：日本語の文を英語にする3つの手順

- 主語を決める (代名詞なら8つのどれか) 例：Ken and I → we
- 主語に合う be動詞 (am / is / are) を選ぶ
- 残りを置く (student のような名詞は、1つなら a / an、2つ以上なら s。tall のような様子の言葉・名前・場所はそのまま) 例：Ken and I are friends. (ケンと私は友達です。)

5 「～ではない」を言う — 否定文

このページのゴール be動詞の文を、「～ではない」「～にいない」の文にできる

① be動詞の後ろに not

日本語は「疲れています」→「疲れていません」と最後を言いかえますが、英語は**be動詞の後ろに not を置く**だけです。be動詞も主語もそのまま、notだけを足します。

形 主語 + **be動詞** + not + ～. 「～ではない」「～にいない」

ふつうの文 I **am** tired. 私は疲れています。

↓ 否定文 I **am** not tired. 私は疲れていません。

Tom **is** not from Canada.
(トムはカナダ出身ではありません。)

We **are** not in the library.
(私たちは図書館にいません。)

合言葉 「be動詞の後ろに not」

× I not tired. → ○ I am not tired.
(私は疲れていません。) be動詞をぬかさないこと。

② 短縮形

もとの形	短縮形	例
is not	isn't	My dog isn't in the garden. (私の犬は庭にいません。)
are not	aren't	Yuki and Emma aren't hungry. (ユキとエマはおなかがすいていません。)
am not	短くしません	I'm not busy. (I am → I'm はよい) (私は忙しくありません。)

テストによく出る形 I'm not ～. (私は～ではありません。)/He isn't ～. (彼は～ではありません。)/They aren't ～. (彼らは～ではありません。) ※ He's not ～.・They're not ～. のように、主語と be動詞をちぢめても言えます。

6 「～ですか」とたずねて答える — 疑問文

このページのゴール 「～ですか」の文を作り、Yes / No で答えられる

① 主語と be動詞を入れかえる

日本語は文の最後に「か」を付けますが、英語は**be動詞を主語の前に出し**、文の最後に？を付けます。

形 **be動詞** + 主語 + ～？ 「～ですか」「～にいますか」

ふつうの文 **You are** a new student. あなたは新入生です。
↓ 疑問文 **Are you** a new student? あなたは新入生ですか。

合言葉 「主語と be動詞を入れかえる」

② Yes / No で答える

答え方 Yes, 代名詞 + be動詞. / No, 代名詞 + be動詞 + not.

Is Ken tall? — No, **he** isn't.
(ケン背が高いですか。— いいえ、高くありません。)

疑問文	答えの主語
Is Ken ～?	he
Is your mother ～?	she
Are Yuki and Emma ～?	they
Are you ～?	I (1人) / we (2人以上)

合言葉 「答えの主語は、代名詞8つのどれか」

△ Yes, Ken is. → ○ Yes, he is.
(はい、そうです。△ はまちがいでありませんが、答えではふつう代名詞にします。)

× Yes, I'm. → ○ Yes, I am.
(はい、そうです。Yes の答えの最後は短くしません。)

1 全体像	2 be動詞とは	3 代名詞	4 am・is・are	5 否定文	6 疑問文	7 this・that	8 長文
-------	----------	-------	-------------	-------	-------	-------------	------

7 this・that と「～の」を使う

このページのゴール 身の回りの物や人を this・that で紹介し、「～の」を正しく付けられる

① this・that で紹介する

this（これ・こちら）は近くの物・人、that（あれ・あちら）は遠くの物・人を指します。人を紹介するときにも使います。

形 This / That + is + ～.

This is my pen.
(これは私のペンです。)

That is my house.
(あれは私の家です。)

This is my sister, Aya.
(こちらは私の姉、アヤです。)
that is は that's と短くできます。this is はふつう短くしません。

② Is this ～? の答え方

Is this your bag? — Yes, it is.
(これはあなたのかばんですか。— はい、そうです。)

答えでは、ふつう this・that を it にかえます (人なら he / she)。

△ Yes, this is. → ○ Yes, it is.
(はい、そうです。△ はまちがいではありませんが、ふつうは言いません。)

③ 「～の」の言い方

私の	あなたの	彼の	彼女の	その	私たちの
my	your	his	her	its	our

「彼らの・彼女らの・それらの」は their、「あなたたちの」も your です。名前や、mother のような人を表す語には 's を付けます (my mother's bag = 私の母のかばん)。

This is Ken's bag.
(これはケンのかばんです。)

× a my bag → ○ my bag
「～の」の語と a / an は並べません。

8 長文で確かめる ― be動詞の文が1つの話の中に

このページのゴール 文章の中の be動詞が、何を言っているかが分かる

カナダから来たトムの自己紹介です。①～⑪の be動詞が、それぞれ何を言っているかを考えながら読み、下の表で確かめましょう。

Hello. I ①am Tom. I ②am from Canada. Now I ③am in Japan, and I ④am a student at a new school. Ken ⑤is my classmate. He ⑥is very kind. Ken's mother ⑦is a teacher at our school, but she ⑧is not my teacher. Today I ⑨am tired, but I ⑩am happy. Ken and I ⑪are good friends.

訳 こんにちは。ぼくはトムです。ぼくはカナダ出身です。今、ぼくは日本にいて、新しい学校の生徒です。ケンぼくのクラスメートです。彼はとても親切です。ケンのお母さんはぼくたちの学校の先生ですが、ぼくの先生ではありません。今日、ぼくは疲れていますが、うれしいです。ケンとぼくは仲の良い友達です。

be動詞	主語	言っていること	文の形
① am	I	なんだ（トムです）	ふつうの文
② am	I	なんだ（カナダ出身です）	ふつうの文
③ am	I	いる（日本にいる）	ふつうの文
④ am	I	なんだ（生徒です）	ふつうの文
⑤ is	Ken	なんだ（クラスメートです）	ふつうの文
⑥ is	He（Ken のこと）	どんなだ（親切だ）	ふつうの文
⑦ is	Ken's mother	なんだ（先生です）	ふつうの文
⑧ is	she（Ken's mother のこと）	なんだ（先生ではない）	否定文（is の後ろに not）
⑨ am	I	どんなだ（疲れている）	ふつうの文
⑩ am	I	どんなだ（うれしい）	ふつうの文
⑪ are	Ken and I	なんだ（友達です）	ふつうの文

主語がIなら am、2人の Ken and Iなら are、1人の Ken・he・sheなら is になっています。

確認問題 ① 形・使い分け・否定文

答えと解説は13・14ページ（7枚目の紙の表と裏）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 () に am / is / are を入れなさい。【3・4ページ】

- (1) My brother () busy today.
- (2) I () a nurse.
- (3) You and Ken () good friends.
- (4) My umbrella () old.

2 次の文を、→ のあとの主語に合わせて書きかえます。□に1語ずつ書きなさい。【3・4ページ】

- (1) I am busy. →
He busy.
- (2) You are tall. →
They tall.
- (3) My father is a cook. →
My parents .
- (4) Emma is a good dancer. →
Emma and Yuki good .

3 次の2語を、短縮形1語に書きかえなさい。【4・7ページ】

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) I am _____ | (2) you are _____ |
| (3) she is _____ | (4) that is _____ |

4 () に入る正しい語・語句を、ア～ウから選んで記号で答えなさい。【7ページ】

- (1) 遠くの部屋を指して：あれは私の姉の部屋です。
That is () room. ア my sister イ my sister's ウ her sister 答え _____
- (2) 遠くにいる人を指して：あちらは私の先生です。
() is my teacher. ア This イ That ウ It's 答え _____
- (3) あれはねこですか。— いいえ、ちがいます。
Is that a cat? — No, () isn't. ア they イ it ウ this 答え _____

5 次の文を否定文に書きかえなさい。【5ページ】

- (1) Emma is happy today.

- (2) We are hungry now.

- (3) My mother is at home now.

- (4) You are busy this week.

確認問題 ② 疑問文・英作文・まちがい直し

6 次の文を疑問文に書きかえ、() の指示どおりに答えの文も書きなさい。【6ページ】

- (1) Tom is hungry. (Yes で答える)

- (2) Your mother is from Osaka. (No で答える)

- (3) Ken and Yuki are tired. (Yes で答える)

- (4) Your brother is a soccer fan. (No で答える)

7 日本語に合うように、□に1語ずつ書きなさい。【5・6・7ページ】

- (1) あなたのお父さんは忙しいですか。

your father busy?

- (2) 私たちの先生は大阪出身ではありません。

Our teacher Osaka.

- (3) あれは彼のかばんです。

his bag.

8 次の日本語を英語にしなさい。【4・5・6ページ】

- (1) あなたはおなかがすいていますか。

- (2) エマは図書館にいません。

- (3) ケンとユキは友達ではありません。

9 次の英文にはまちがいが1か所あります。日本語に合う正しい英文に書き直しなさい。【4・5・6ページ】

- (1) 私はケンの友達です。 I are Ken's friend.

- (2) 彼女は忙しくありません。 She not is busy.

- (3) 彼女は上手な歌手ですか。—はい、そうです。 Is she a good singer? — Yes, she's.

確認問題 ③ 並べかえ・長文読解

10 (1) ～ (3) は日本語に合うように、(4) (5) は対話の内容から考えて、() 内の語を並べかえて書きなさい。(4) (5) は6つの語のうち1つが不要です。文の最初にくる語も小文字にしてあります。【4・5・6・7ページ】

(1) 私の母は看護師です。(is / a nurse / my mother) .

(2) あなたたちは疲れていますか。(are / tired / you) ?

(3) あれは私たちの学校です。(our school / that / is) .

(4) (高校入試の型)

A: That man is very tall. (is / he / your / are / English / teacher) ?

B: Yes, he is. He is from Canada.

(5) (高校入試の型)

A: Are you and Ken from Tokyo?

B: No, (not / we / are / from / am / Tokyo) .

11 次の英文は、ユキが新しい友達のエマを紹介したものです。読んで、あとの問いに答えなさい。【2・3・5・6・8ページ】

Hi, I am Yuki. This is my new friend, Emma. She is not from Japan. She is from America. ① Emma is a new student in my class, and she is very kind. She is not shy, and she is a good friend. Emma's father is a doctor, and her mother is a nurse. They are busy every day, and they are kind. Emma's sister is a student at my school, but she is not in my class. ② Emma's sister is not tall, but she is very nice, too. Emma's family is from a small town in America. Now, Emma and her family are in Tokyo. Their house is not big, but it is very nice. Emma and I are good friends now. I am happy, and she is happy, too.

(1) 下線部①を日本語にしなさい。

(2) 下線部②を日本語にしなさい。

(3) ～ (4) は、本文の内容に合うように、英語で答えなさい。

(3) Is Emma from Japan? _____

(4) Are Emma and her family in Tokyo now? _____

(5) エマの家族はどこ出身ですか。日本語で答えなさい。 _____

このプリントに出てきた単語

代名詞 (I, you, it など) ・ 冠詞 (a, the) ・ in や and のようなごく基本の語と、人名 ・ 地名はのせていません。

そのほかの語 (ABC順)		friend	友達	pen	ペン
bag	かばん	garden	庭	room	部屋
big	大きい	good	上手な、良い	school	学校
book	本	happy	うれしい	shy	恥ずかしがりの、人見知りの
brother	兄、弟	hello	こんにちは	singer	歌手
busy	忙しい	hi	やあ、こんにちは	sister	姉、妹
cat	ねこ	home	家 (at home = 家に)	small	小さい
class	クラス、授業 (in my class = 私のクラスで)	house	家	soccer	サッカー
classmate	クラスメート	hungry	おなかがすいた	student	学生、生徒
cook	料理人	kind	親切な	tall	背が高い
dancer	ダンサー	library	図書館	teacher	先生
day	日 (every day = 毎日)	man	男の人	tired	疲れた
doctor	医者	mother	母	today	今日
dog	犬	new	新しい	too	〜も
every	毎〜 (every day = 毎日)	nice	優しい、すてきな	town	町
family	家族	now	今	umbrella	傘
fan	ファン	nurse	看護師	very	とても
father	父	old	古い	week	週 (this week = 今週)
		parents	両親		

確認問題の答えと解説 ① （大問1～7）

1

(1) **is** **My brother is busy today.** (私の兄は今日、忙しいです。)
My brother は1人なので is。【4】

(2) **am** **I am a nurse.** (私は看護師です。)
主語が I なら am。【4】

(3) **are** **You and Ken are good friends.** (あなたとケン仲のいい友達です。)
You and Ken は2人なので are。【4】

(4) **is** **My umbrella is old.** (私の傘は古い。)
My umbrella は1つなので is。【4】

2

(1) **is** **He is busy.** (彼は忙しい。)
主語が he になったので is。【4】

(2) **are** **They are tall.** (彼らは背が高い。)
主語が they なので are。【3・4】

(3) **are / cooks** **My parents are cooks.** (私の両親は料理人。)
主語が2人になったので are、cook にも s を付けます。【3・4】

(4) **are / dancers** **Emma and Yuki are good dancers.** (エマとユキは上手なダンサー。)
主語が2人なので are、dancer にも s を付けます。【3・4】

3

(1) **I'm** **I'm busy.** (私は忙しい。)
I am を短くした形。【4】

(2) **you're** **You're tall.** (あなたは背が高い。)
you are を短くした形。【4】

(3) **she's** **She's kind.** (彼女は親切。)
she is を短くした形。【4】

(4) **that's** **That's my school.** (あれは私の学校。)
that is を短くした形。this is はふつう短くしません。【7】

4

(1) **イ** **That is my sister's room.** (あれは私の姉の部屋。)
「姉の」は名前や人の後ろに 's を付けます。【7】

(2) **イ** **That is my teacher.** (こちらは私の先生。)
遠くにいる人を紹介するときは That is 〜。【7】

(3) **イ** **Is that a cat? — No, it isn't.** (あれはねこですか。— いいえ、ちがいます。)
答えでは、ふつう that を it にかえます。1つの物なので they は使いません。【7】

5

(1) **Emma is not happy today.** (エマは今日うれしくありません。)
be動詞のすぐ後ろに not。Emma isn't happy today. でも正解。【5】

(2) **We are not hungry now.** (私たちは今おなかがすいていません。)
We aren't hungry now. ・ We're not hungry now. でも正解。【5】

(3) **My mother is not at home now.** (私の母は今家にいません。)
isn't でも正解。【5】

(4) **You are not busy this week.** (あなたは今週忙しくありません。)
aren't ・ You're not でも正解。【5】

6

(1) **Is Tom hungry? — Yes, he is.** (トムはおなかがすいていますか。— はい、すいています。)
be動詞を主語の前に出します。答えの主語は代名詞 he。【6】

(2) **Is your mother from Osaka? — No, she isn't.** (あなたのお母さんは大阪出身ですか。— いいえ、ちがいます。)
答えの主語は代名詞 she にします。No, she's not. でも正解。【6】

(3) **Are Ken and Yuki tired? — Yes, they are.** (ケンとユキは疲れていますか。— はい、疲れています。)
2人が主語なので Are、答えの主語は they。【6】

(4) **Is your brother a soccer fan? — No, he isn't.** (あなたのお兄さんはサッカーファンですか。— いいえ、ちがいます。)
No, he's not. でも正解。【6】

7

(1) **Is** **Is your father busy?** (あなたのお父さんは忙しいですか。)
疑問文なので be動詞 Is を主語の前に出します。【6】

(2) **is / not / from** **Our teacher is not from Osaka.** (私たちの先生は大阪出身ではありません。)
Our teacher は1人なので is、否定文は is の後ろに not。【5】

(3) **That / is** **That is his bag.** (あれは彼のかばん。)
「あれは」は That、be動詞は is。【7】

確認問題の答えと解説 ② （大問8～11）

8

(1) **Are you hungry?**（あなたはおなかがすいていますか。）
主語が you なので Are。be動詞を主語の前に出します。【6】

(2) **Emma is not in the library.**（エマは図書館にいません。）
主語が Emma なので is、後ろに not。Emma isn't in the library. でも正解。【5】

(3) **Ken and Yuki are not friends.**（ケンとユキは友達ではありません。）
主語が2人なので are、後ろに not。friends の s も忘れずに。Ken and Yuki aren't friends. でも正解。【4・5】

9

(1) **I am Ken's friend.**（私はケンの友達です。）
主語が I なら am。【4】

(2) **She is not busy.**（彼女は忙しくありません。）
not は be動詞の後ろに置きます。【5】

(3) **Is she a good singer? — Yes, she is.**（彼女は上手な歌手ですか。— はい、そうです。）
Yes の答えの最後は短縮形にしません。【6】

10

(1) **My mother is a nurse.**（私の母は看護師です。）
My mother は1人なので is。【4】

(2) **Are you tired?**（あなたたちは疲れていますか。）
疑問文なので be動詞 Are を主語の前に出します。【6】

(3) **That is our school.**（あれは私たちの学校です。）
「あれは」は That、be動詞は is。【7】

(4) **Is he your English teacher?**（あの男の人はとても背が高いね。彼はあなたの英語の先生？）
「あの男の人」は1人の男の人なので he、be動詞は is。たずねる文なので Is を he の前に出す（B も Yes, he is. と答えている）。are は使わない。【4・6】

(5) **No, we are not from Tokyo.**（いいえ、私たちは東京の出身ではありません。）
「あなたとケンは？」とたずねられたら、自分たち2人＝ we で答える。we の be動詞は are で、否定文は are の後ろに not。am は I のときだけなので使わない。【4・5】

11

(1) **エマは私のクラスの新入生で、とても親切です。**
a new student in my class が「私のクラスの新入生」。【2・3】

(2) **エマの姉（妹）は背が高くありませんが、彼女もとても優しいです。**
is not は「～ではない」。sister は「姉」でも「妹」でもよい。【5】

(3) **No, she isn't.**（いいえ、ちがいます。）
本文に She is not from Japan. とある。No, she's not. でも正解。【6】

(4) **Yes, they are.**（はい、います。）
本文に Now, Emma and her family are in Tokyo. とある。答えの主語は they。【6】

(5) **（アメリカの）小さな町の出身です。**
本文に Emma's family is from a small town in America. とある。【8】

本文の訳 こんにちは、私はユキです。こちらは私の新しい友達、エマです。彼女は日本出身ではありません。彼女はアメリカ出身です。①エマは私のクラスの新入生で、とても親切です。彼女は人見知りではなく、良い友達です。エマのお父さんは医者で、お母さんは看護師です。彼らは毎日忙しく、親切です。エマの姉（妹）は私と同じ学校の生徒ですが、私と同じクラスではありません。②エマの姉（妹）は背が高くありませんが、彼女もとても優しいです。エマの家族はアメリカの小さな町の出身です。今、エマと家族は東京にいます。彼らの家は大きくありませんが、とてもすてきです。エマと私は今、良い友達です。私はうれしくて、彼女もうれしいです。